

COVID-19 中等症病棟入院による日常生活機能の変化と、機能維持改善のための取り組み

1	研究対象者
	当院の新型コロナウイルス感染症病棟の入院患者
2	研究責任者
	埼玉県総合リハビリテーションセンター 第一病棟主任 千葉 幸一
3	研究の目的
	COVID-19中等症病棟入院による日常生活機能の変化を明らかにし、機能維持改善のための取り組みの効果について検討する。
4	利用する診療情報
	診療録より令和3年8月から令和4年3月までに入院された対象者の年齢、性別、既往歴、病歴、新型コロナウイルス感染症の重症度、ADL（FIM・看護必要度）転帰先、退院先などのデータを収集し集計する。
5	研究期間
	令和4年3月1日から令和4年11月30日
6	個人情報の取り扱い
	<p>本研究で収集される診療情報は、解析する前に個人が特定されないよう個人情報を削り符号化したうえで外部ネットワークから遮断された院内電子カルテ及び県庁LAN用PCのみで管理致します。</p> <p>データにはパスワードをかけ保管・管理し院外には持ち出しは致しません。データは、研究終了後5年間を経過したのちに破棄します。</p>
7	お問合せ先
	<p>本研究にご自身の情報を使用されることにご了解いただけない場合や途中で研究対象から除外の希望がある場合は、お申し出ください。ご協力いただけない場合でも不利益が生じることはありません。</p> <p>本研究に関するご質問等がありましたら、下記連絡先までお問い合わせください。</p> <p>【お問合せ先】 埼玉県総合リハビリテーションセンター 第1病棟主任 千葉 幸一 電話：048-781-2222（代表）</p>